

ディスコグラフィアー掲載

ディスコグラフィアー【2022No.184】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：J.S.バッハ:他

曲：平均律クラヴィーア曲集第1巻より前奏曲第1番ハ長調他

演奏：後藤友香理

発売：SIZUOKA MUSICKING LABO

No.：ECL301

概要：



古典調律と平均律を聴き比べるという企画の CD で、古典調律はキルンベルガーの調律法第2法が適用されています。

<https://phileweb.shop/recordsdisks/selected/cd/cd-ecl301/>

なお、キルンベルガーの調律法についてはブックレットに解説がありますが、下記にも解説があります。

<http://murashin.sakura.ne.jp/muraron18.htm>

【収録情報】

〈古典調律キルンベルガーII による演奏〉

- J.S.バッハ:平均律クラヴィーア曲集第1巻より前奏曲一第1番ハ長調 / 第8番変ホ長調 / 第3番嬰ハ長調
- シューマン:幻想曲ハ長調作品17
〈平均律による演奏〉
- ベルク:ソナタ作品1

●ドビュッシー: 前奏曲集第1集より一第1曲デルフィの舞姫 / 第4曲夕べの大気に漂う音と香り / 第5曲アナカプリの丘 / 第8曲亜麻色の髪の乙女 / 第10曲沈める寺 / 第12曲ミンストレル

●J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集第1巻より前奏曲一第1番ハ長調

録音:2020年1月 静岡音楽館 AOI(ライブ録音)

<曲目>

1. J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番ハ長調より 前奏曲
BWV846
2. J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第8番変ホ短調より 前奏曲
BWV853
3. J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第3番嬰ハ長調より 前奏曲
BWV848
4. シューマン: 幻想曲 ハ長調 作品17 第1楽章 どこまでも幻想的かつ情熱的に
5. シューマン: 幻想曲 ハ長調 作品17 第2楽章 中庸なテンポで、非常に精力的に
6. シューマン: 幻想曲 ハ長調 作品17 第3楽章 ゆるやかに演奏し、常に静けさを持って
7. ベルク: ソナタ 作品1
8. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第1曲 デルフィの舞姫
9. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第4曲 夕べの大気に漂う音と香り
10. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第5曲 アナカプリの丘
11. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第8曲 亜麻色の髪の乙女
12. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第10曲 沈める寺
13. ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 第12曲 ミンストレル
14. J.S.バッハ: 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番ハ長調より 前奏曲
BWV846

Track1 から Track6 までのバッハの平均律クラヴィーア曲集とシューマンの幻想曲ハ長調がキルンベルガー律で、Track7 から Track14 までのベルクとドビュッシーと最後のバッハの平均律クラヴィーア曲集が平均律で調律されたスタンウェイ D274 を使用した演奏で 2020 年の収録です。

試聴は、EMT981 による再生とリッピングしたものを fidata から BrooklynDAC+ 経由で再生しました。

どの曲、どの Track も打鍵の様子、スタンウェイの音色が忠実に再現されています。EMT981 による再生は、CD の音の感じはせず、生のスタンウェイを聴いているような印象です。

Track1 から Track6 までの古典律の演奏と Track7 から Track14 までの平均律の演奏を比較しますと、後者の方がわずかに不協和音的に聴こえるところがあったり、高域がきゅんつくところがあります。

特に Track1 と Track14 のバッハを比べますとその違いは分かりやすく、前者は響きが豊かで重量感がありますが、後者は音が薄くなります。

以上